

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	理科	科 目	科学と人間生活	学 年	1 年	類 型	商業科
単位数	2	教科書	科学と人間生活		出版社	東京書籍	
副教材							

学習の到達目標

- (1) 我々が直面する環境問題やエネルギー問題といった地球規模の課題についての知識を身に付ける。
- (2) 私たちが、自然と調和しながら持続可能な社会をつくるための方法についての知識を身に付け、必要な思考力を養う。
- (3) 自然の事物や現象の中から新しい発見や理論が導き出されたことを理解し、自然を観察する観察力や、仮説を立て、考えてみる力を養う。

授業の概要

- ・ 知識の習得は、座学やサイエンス関連動画の視聴を組み合わせで行います。
- ・ 習得した知識は、実験や課題レポートの作成を通して深化させていきます。
- ・ 定期考査は大変重要です。考査範囲をよく確認して、やり残しの無いようにしっかりと準備して臨む必要があります。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・ 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・ 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価の対象	定期考査・実験プリント・授業時の観察	定期考査・課題レポート・実験プリント	学習への参加状況・DVDレポート・振り返りシート
備考	・ 観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・ 「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学 期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとまりごとの評価規準）	定期考査
1 学 期	1 編 生命の科学 1 章 微生物と その利用	・身のまわりに多種多様な微生物が生息していることを理解している。 ・生態系における微生物のはたらきの有用性について理解している。 ・私たちのくらしに、微生物のはたらきが利用されていることを理解している。	1 学期 中間考査
	2 章 ヒトの 生命現象	・ヒトの視覚のしくみを理解している。 ・ヒトの血糖濃度を調節するしくみを理解している。 ・ヒトの免疫のしくみを理解している。 ・遺伝子のはたらきが、生命現象の大もとになっていることを理解している。	
	2 編 物質の科学 1 章 材料と その再利用	・資源の有限性を理解し、リサイクルの重要性を理解している。 ・異なる金属を区別することができ、それぞれの性質を理解している。 ・プラスチックを性質ごとに分類することができる。 ・プラスチックの再生利用について理解している。	1 学期 期末考査
2 学 期	2 章 衣料と食品	・繊維について、生物からつくられる天然繊維と、石油からつくられる合成繊維に分類することができる。 ・体にどのような栄養素が必要か理解している。 ・三大栄養素の性質をそれぞれ理解している。	2 学期 中間考査
	3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質と その利用	・光の進み方とその基本的な性質を理解している。 ・目に見える光と目に見えない光について理解している。	
	2 章 熱の性質と その利用	・熱とは何か、理解している。 ・エネルギーの利用と私たちのくらしとの関連を理解している。 ・エネルギーの変換と有効利用について考えることができる。	2 学期 期末考査
3 学 期	4 編 宇宙や地球の 科学 1 章 太陽と地球	・太陽と月が関係した暦について理解している。 ・太陽が動かす大気と水が、地球の環境に大きな関係を持っていることを理解している。	学年末考査
	2 章 自然景観と 自然災害	・身近な自然景観の成り立ちを理解している。 ・自然災害と防災について積極的に学ぼうとしている。 ・地震や火山などの災害の特徴を理解している。	